

2014年7月（日本国大使館）

安 全 情 報

～2014年上半期中におけるカンボジア犯罪発生状況等～

「自分の身は自分で守る。」をモットーにカンボジアライフを楽しく、良い思い出をつくるため、安全情報を提供させていただきます。

- 1 2014年上半期（1月～6月）中の犯罪発生総件数は下記表のとおり1,433件と前年同期と比べて微増状態ですが、窃盗事件は89件（+20%）、詐欺・背任事件は19件（+66%）も増加しています。

No.	犯罪種別	2014年 上半期(1～6月)	2013年 上半期(1～6月)	増減
I	重要犯罪	381	436	-55 (-13%)
1	強盗	138	178	-40 (-22%)
2	殺人	112	132	-20 (-15%)
3	強姦のみ	119	113	+9 (+5%)
4	強姦殺人	2	3	-1 (-33%)
5	監禁（身代金目的）	0	2	-2 (-100%)
6	監禁（その他）	3	1	+2 (+200%)
7	手榴弾攻撃	5	3	+2 (+67%)
8	硫酸攻撃	0	3	-3 (-100%)
9	通貨偽造	2	1	+1 (+100%)
II	その他の犯罪	1,052	950	+102 (+11%)
1	過失（傷害）致死	6	8	-2 (-25%)
2	窃盗	542	453	+89 (+20%)
3	詐欺・背任	48	29	+19 (+66%)
4	傷害	411	421	-10 (-2%)
5	わいせつ	23	28	-5 (-18%)
6	違法武器使用	8	10	-2 (-20%)
7	賭博	14	1	+13 (+1,300%)
犯罪発生総件数		1,433	1,386	+47 (3%)

2 邦人被害の事件についても、窃盗（ひったくり）及び詐欺事件（いかさま賭博詐欺）の数が急増しています。

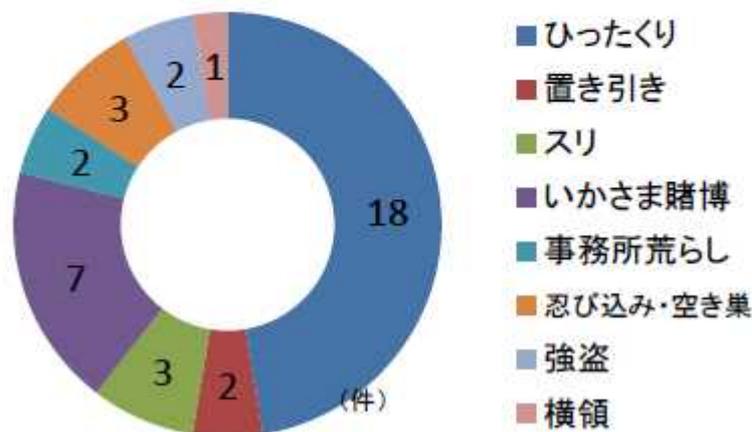
※ いかさま賭博詐欺とは東南アジア系男女（彼らの多くはフィリピン人やインドネシア人を名乗ることが多い）が、主にプノンペン市内の観光地やマーケットなどにおいて、主に邦人旅行者に対して親しげに話し掛けて自宅に食事に誘った後に、いかさま賭博を持ちかけて、最終的にお金や携帯電話、カメラ等をだまし取るというもの。

2014年上半期（1月～6月）における、当館が把握している邦人の犯罪被害件数は38件であり、既に半年間で昨年（2013年）の総数である32件を上回っています。

そのうち、ほぼ半数の18件がひったくり被害ですが、これらの数字（18件）のうちの殆ど（15件）が、被害者がひったくり被害時に旅券を亡失して、当館に申請に来たことから当館が把握した数字であり、当館に届出をしていない分を含めた実際の被害数は、これらの数倍になるものと思われます。

いかさま賭博についても、当館で既に7件の邦人被害を把握しており、昨年総数の2件と比較しても、大幅に被害件数が増加しているものと思われます。

2014年上半期犯罪統計 (38件)



3 今後、急増するひったくり犯罪被害やいかさま賭博詐欺に遭わないよう、また、被害に遭った場合でも被害を最小限に抑える為に、外出をする際は以下の点に留意して下さい。

○ カンボジア国内において安全な場所、時間帯はないという意識を持つこと。（ひったくりは、人通りが多い場所や時間帯でも頻繁に発生してい

ます。)

- 外を歩く際は、出来る限り手荷物を持たないようにし、可能な限り両手を自由にしておくこと。
- やむを得ずバック等を所持する場合は、高価なバック等は避け、バックの中には多額の現金や高価なものは入れないこと。
- バックは肩に掛けているとひったくられやすく、また、タスキ掛けにした場合、取られにくい反面、強奪された場合、負傷する可能性が高いということを認識すること。(引きずられる、武器を使用される等)
- 自転車のかごには貴重品の入ったバックを入れないこと。
- 不必要に多額の現金を持ち歩かない(使用する予定の現金のみ持ち歩く)、又、ズボンの後ろポケットに財布を入れないこと。
- 夜間の外出はできる限り避け、日中でも徒歩による移動は控えること。
- 外出中は不審者や尾行者がいないか時々確認し、尾行者等に気づいたら、子供であっても油断せず、人が大勢いる商店等に待避してやり過ごすこと。
- 徒歩中にスマートフォンやデジカメ等高価なものをむやみに取り出さないこと。(最近、特にiPhoneをひったくられる被害が増加しており、iPhoneを手を持って歩いているとひったくり犯の格好の標的になってしまいます。)
- トウクトウクに乗車してからも気を抜かず、手荷物を確実に把持すること。(最近、被害者がトウクトウク乗車中、手荷物を膝上や座席に無造作に置いておいたことによって、ひったくり被害に遭うケースが急増しています。)
- いかさま賭博詐欺に遭わないために、以下の点に気を付けること。
 - ① 見知らぬ者に声を掛けられても不用意に相手にしない。
 - ② 親しげに話し掛けられても、常に警戒心を持つ。
 - ③ 宿泊先や電話番号等を安易に教えない。
 - ④ 間違っても自宅までついて行かない。

カンボジアは過去と比較して安全になったイメージがありますが、犯罪は依然として頻繁に発生しています。日本と比べて当地での生活には特に注意し、○危険な場所には近づかない、○夜間に人通りが少ない道の1人歩きはしない、○深夜の不要の外出は控える、○多額の現金や貴重品は持ち歩かない、○見知らぬ人を安易に信用しない、○買い物は信用のおける店を選ぶ、○ホテルの中でも安心しない、○犯罪に遭遇した場合抵抗しない、など「自分の身は自分で守る。」をモットーに防犯に心掛けて下さい。